

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら

SOS vol. 194通信
H28年10月7日発行
発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《利用状況 案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア **利用者さん大募集♪**
☆ナイス・デイ (定員10名)
日 月 火 水 木 金 土
6 9 8 7 7 8 8
☆ナイス・ホーム(定員25名、登録者15名)
☆愛宕の家(定員17名中入居者13名)
☆つしま紹介所
☆ナイス・キッズ
(平日、下校後の利用のみ募集中)

～参考にご利用下さい～

《教室案内》

・和太鼓 月曜日(年間35回)
場所：愛西市川淵コミュニティ
・コーラス 水曜日(月2回)
場所：喫茶てのひら
・バスケット 金曜日(月2～4回)
場所：藤浪中学校体育館
※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。各教室月謝制で、定員あり。詳細はお問い合わせ下さい。

《10月行事予定》

7日 運動会
10日 遠足
20日 避難訓練
23日 誕生日会
31日 全体研修

《不定期行事》

天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

今日は本音を言おうじゃないか!

どうしてもあと2キロの増えた体重が減らない!



その本音に答えようじゃないか!

摂取カロリーと消費カロリーのバランスが取れていないだけのこと! 年齢と共に基礎代謝が落ちるってそういうことですよ。そろそろ年齢を自覚してね～♪

自宅での看取り/ナイス・ケア

緩和病棟も施設入所も拒否。退院後に自宅での生活を選択したNさん。予後は月単位という状態で訪問介護の利用が始まった。今まで、自分の兄弟を看取り、今度は自分の番と覚悟を決めていたとの話し。私たちヘルパーとして看取りに関わる覚悟を決めた。Nさんは訪問介護利用が初めてであり、自宅に他人を入れることを含めなかなか馴染めない。用意した食事はヘルパーが帰ってから食べ、会話も多くは無かった。その中から好きな食べ物を少しずつ聞き、ヘルパー間で情報交換し少しでも望んでみえるだろう生活に繋げていくしかなかった。身体が辛くて『鍵の管理は自分でやります。』と気丈だった。ふらつきながらも玄関の施錠をしたり、排泄もトイレに行っていた。関わって約1ヶ月後、徐々にそれも出来なくなり、ベッドで一日中過ごされるようになった。むせる事が怖く、なかなか水分を口にすることができなくなった。一人暮らしのため不安をこぼされる事もあった。最初は距離があったNさんだったが、訪問時に大きな声で挨拶を返して下さっていた...、その声も聞かれなくなり最期を迎えられた。決められた時間帯、制限のある時間数で訪問する私達の関わりがNさんの不安をいったいどれだけ和らげることが出来たのだろうか...。2ヶ月間の短い関わりだったが、生命の終焉を覚えてもらったと思う。ヘルパーとして、「自宅で最期を迎えたい。」というNさんの希望を叶える援助はあつという間に終了した。ご冥福をお祈りいたします。(H・A)

毎月10日は外食DAY/S・O・S

それはそれは楽しみな1日。利用者さんはもちろん、外食慣れしてスタッフにも特別な日。飲み込みが困難になってくると思うように食事が摂れない。『生きている限り出来るだけ口から食べたい。』という思いは誰もが普通の欲求。しかし、ムセたり、のどを通らなくなってしまおうとミキサー食。ミキサー食では何を食べているのか分からない。もちろん外食にも行かなくなってしまおう。そんな経過があるKさんは半年程前からミキサー食を普通食に変更した。今では毎月楽しみに外食に参加してみえる。



9月は回転寿司へ。「あれがいい、これがいい」と次々とリクエスト。そして何より美味しく口に食べられる。帰りの車の中で「何が美味しかった?」と聞くと「鰻(笑)」と即答。10月にはちょっと足を伸ばして弥富の三又池公園へハイキング♪
実は...多様な症状を抱える利用者さん達と皆で外出する事は大変。食事となると注意事項も沢山ある。決して外出援助は容易ではない。しかし、外食DAYに参加し続けるために、『飲み込む機能を衰えないようにしなきゃ。』と全身の筋力低下、体力維持などに努力する人達の姿を見ると、外食DAY1つとっても日々の生活の意欲が違ってくるのだろうと実感する。私達の役割はそれに答え続けることだと日々心している。(M・O)



社内イベント/ナイス・キッズ

10月7日サポート・ワン・サービスの大運動会が開催された。開催に当たっては準備が必要です。前日準備に今年は3年生のY君が大活躍!! まずは競技で行われるパン食い競争に必要なパンの買い出し! パンを選ぶ際も「やっぱ、じいちゃん・ばあちゃんはあるこが入ったパンがいいんじゃない? でもな～〇〇さんは若いからメロンがいいかな～?」とブツブツ言いながら籠の中にいろんなパンをたくさん入れる。段ボールを組み立てパンを入れ施設内まで運搬する彼の顔は誇らし気(笑) ここ最近、デイサービスで放課後を過ごすことも多く、以前に増してじいちゃん・ばあちゃんと過ごす時間が増えた。今までなら自分が学校に行っている間に行われる自分が参加できない行事の手伝いは「ええ～っ面倒くさ～い」などと興味も示さなかったことが多いが、現在、買い物一つとっても「〇〇さんはこれが良いかも、〇〇さんはこれが好きかも」などと考えられる3年生に何だか微笑ましかった。さて、宿題が終わったら、万国旗づけ。スタッフの指示のもと次から次に飾り付けられていく。おかげで準備もあつという間に終了した。その後、当日参加できないので、じいちゃん・ばあちゃんより一足お先にパン食い競争満喫しちゃった3年生。でも、翌日はキッズと参加できなかったじいちゃん、ばあちゃんたちと運動会を開催。学校とは一味も二味も違う楽しいひと時となりました♪(R・W)



言葉とこころ/愛宕の家

入居者さん達の言われる言葉で気になる言葉がある。「まあ、はよ死にたいわ。」「皆が早く死んだほうが良いと思っとる。」等とにやら物騒な話。「そんな事言わんと100歳まで生きなきゃ!」とは試してみるものなんだか複雑な気持ちになる時がある。高齢者は皆そういったことを言うのか、認知症故なのかは専門家ではないので分からない。あるご家族が不穏になっている時の言動を目の当たりにして「母の苦痛を取り除いてあげたい。」と言われた。認知行動の最中は何を感しているのだろうか? ご本人は覚えていなくとも苦痛を感じているのだろうか? 常に不安や苦痛を感じるのか? だから「死」を口にすることなのか? どうすれば穏やかな気持ちを保ち続ける事が出来るのか? 考え出したらキリがない。答えが出る問題ではない事は分かっている。なんだか重～い話になってしまったが、私たちはどんな時も寄り添うしかない。とことんお付き合いしようではないか。(K・T)

情報共有/ナイス・ホーム

ナイス・ホームでは毎朝、皆でミーティングをする。通い、訪問、泊まりの利用を併用してみえる方、訪問や通いだけ使ってみえる方、それぞれだが、その日、その日で状態や利用方法が変化することが多いため、毎日情報交換が必要。通いでは送迎時間の確認。ご家族が迎えに来てくれるのか? 早帰りの方はいないか? などなど...。訪問では担当スタッフへサービス内容での申し送り事項。また、訪問担当者からの報告などなど...。泊まりでは、宿直者が朝の交代スタッフに夜間の様子を伝えて、日中の対応に注意が必要かななどを検討する材料に...。他のスタッフに比べて、現場にいることは少ないかもしれないけど、ケアマネも出来るだけ毎日通いの場には出向き、状態や情報収集に努める。その方の日常生活全般を把握することで、より繋がりのある支援になると信じて、毎日のミーティングは欠かせない。(Y・O)



評価される側.../アセッサー

初めて『批評評価者』(評価される側)となり、「私の何を見るの?」と不安のまま評価の期間に入った。「いつも通りの介助を見せてもらえればいい」とアセッサーは言うものの、見られてると思ういつも通りの介助が出来ているのかとまた心配になる。でも、評価してもらっているうちに、普段疑問に思っている些細な事を聞け、「これでいいんだあ」「こんな介助方法もあるんだあ」とリアルタイムで確認でき自信に繋がった。評価が終わり、アセッサーからのコメント、自身の振り返り...これを2回繰り返すと聞いている。「出来ているつもり」「分かっているつもり」の部分がある事も理解できた。自分の介助や関わりを見つめ直す良い機会になった。そして、「ちゃんと現場で活かさねば」と今ヒシヒシと聞いている。(K・N)

《編集後記》

この間オリンピックのパレードを利用者さんたちと一緒に見ていました。「4年後は東京!」という言葉にみな「生きとるかなあ」と...。何でもいい。目標になれば! 4年後の東京オリンピックを利用者さんたちと一緒にみれますよーに... (Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。10月の発送部数 85部